

国有林見学会「秋の黒森山登山」を開催

去る9月29日(木)、むつ市大畑町の国有林内にある黒森山に於いて、一般市民を対象に国有林見学会を開催しました。この見学会は、国有林についての理解とイメージアップを図ることを目的に毎年開催しており、今年も青森市内の方を含む28名の参加がありました。

黒森山は標高420mで、むつ市との間で「遊々の森」協定を締結しているエリアにあります。当日は、管理している「下北自然の家」のスタッフに、登山の先導と案内をしていただきました。

ここ数年は悪天候に祟られてきた見学会ですが、今年は好天に恵まれ、参加者の皆さんは軽快な足取りで山を登り始めました。しかし途中から急傾斜が続くにつれ段々足取りが重くなり、後半はみな汗だくになっていましたが、小まめに休憩をとりながら約1時間半をかけて全員無事に頂上までたどり着きました。

頂上では疲労困憊といった様子の方もいましたが、展望台から大畑の町並を一望し、達成感と満足感に浸っている様子でした。



下山後は、「下北自然の家」で昼食をとりながら「遊々の森」制度や「国際森林年」などについて説明を行い、その後、バスで大畑のヒバ施業実験林へ向かいました。

実験林では、長年管理に携わってきた柴田円治さんからの説明を受けながら、施業区の更新状況や無施業区との林相の違いなどを観察しました。初めてヒバ林の中に入ったという方も多く、みな興味津々でメモをとったり柴田さんに質問したりで、帰りの予定時刻をオーバーしてしまうほどでした。

自然環境に対する国民の意識の高まりと共に、森林への期待は年々増大しているところですが、国有林に対する認識は必ずしも高くない状況であり、今後もこのような機会を通じて国有林のPRに努めていきたいと考えているところです。